

## 次号予告

### 特集 データドリブンマーケティング

マーケティング分析におけるデータハンドリングの注意点

—データ解析コンペティションの今昔比較を通して—.....田畑智章 (東海大学)

文系学部におけるデータ・リテラシー教育の実践—青山学院大学経営学部マーケティング学科の事例—

.....横山 暁 (青山学院大学)

企業におけるデータサイエンス組織の立ち上げと支援.....植田雄介 ((株)プレインパッド)

日本におけるネーミングライツ価格の決定要因分析.....藤沼亮太・朝日弓未 (東京理科大学)

生活者データドリブンのキャラクター活用マーケティング

—キャラクター選定を愛好者のペルソナから考える—.....舟久保竜 ((株)ドゥ・ハウス)

ソーシャルメディア情報を用いた消費者コミュニティの理解

—ファッションブランドにおけるコミュニティ構造分析— 大竹恒平 (東海大学), 生田目崇 (中央大学)

### 機関誌バックナンバーのWeb掲載について

機関誌のバックナンバーを学会ホームページに掲載していますのでご活用ください。 <https://orsj.org/corsj-backnumber>  
会員限定ページの閲覧に必要なユーザー名とパスワードは、会員マイページに掲載しています。

### 編集後記

●今月号は、博士号を取得したばかりの新進気鋭の若手研究者による研究成果の特集でした。博士号取得により将来の可能性が大きく広がり、企業や大学において長期的に重要な役割を果たしてくれると思います。人間の職業が人工知能に代替されていく時代の中で、博士号を取得し自身の価値を高めて他者と差別化することは重要です。余談ですが、“つくばの社工”の大学院では博士後期課程を対象とした講演・座談会を開催しました。博士号取得に興味をおもちの方は（そうではない方も）ぜひ録画 (<https://youtu.be/ouVAE8GVmEY>) をご覧ください。

●若手研究者を応援するために、OR学会の研究発表会において学生セッションを毎回開設し、優れた発表を表彰するのはいかがでしょうか。現状の研究発表会

はプロ研究者による専門的で高度な内容の発表が多く、その格調の高さがOR学会の良さだと思うのですが、学生に気軽に参加・発表を勧めづらいという一面もあります。ほかの学会に参加すると、学生セッションは聴衆が多く発表もよく準備されており、学生会員数の増加にも関連付けています。

●ほかの一般セッションが過疎化する、研究発表の水準が低下する、審査員の確保や異分野の審査が難しい、単純に学会の仕事が増えるなど、慎重に検討すべき点はありますが、学会の未来を支える若手研究者を歓迎し鼓舞することは重要だと思います。OR学会関係者の皆さま、一つの意見としてご検討いただけますと幸いです。  
(高野祐一)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 野々部 宏司 (法政大学)

特集担当編集委員 鶴飼 孝盛 (防衛大学校)

委員 朝日 弓未 (東京理科大学), 伊豆永 洋一 (九州大学), 井床 利生 (IBM基礎研究所), 井家 敦 (神奈川工科大学), 梅谷 俊治 (大阪大学), 大竹 恒平 (東海大学), 加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 小林 隆史 (立正大学), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 猿渡 康文 (筑波大学), 高野 祐一 (筑波大学), 生田目 崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム), 山本 零 (慶應義塾大学), 吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

令和4年8月号 第67巻 第8号 通巻740号

代表者 山上 伸

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<https://orsj.org>

編集人 野々部 宏司

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。